

長野泰一 録の 免疫學者、醫學博士。明治二十九年六月二十一日

重藤庄弘 (一九〇一)。昭和七年北海道帝國大學醫學部卒。熱帯醫學研

究所技師を経て、二十一年東京大學教授、二十一年博志病研究所所長、

二十四年日本ウイイル學會會長。インターナエロンの第一發見者。五

十二年日本學士院恩賜賞受賞。

譯著書、エドワード・ジェンナー著『種痘法の發見』(佐伯謙共譯著)

昭和十九年八月十日日本出版株式會社「科學古典叢書」(一)等。